

令和6年度 江東商業高等学校 年間授業計画

教科：（ 商 業 ） 科目：（ 簿 記 ） 単位数：（ 4 単位） 対象：（第1学年 A組～ E組）

教科担当者：（ A組：重石・渡邊秀 ）（ B組：手島・新井 ）（ C組：藍澤・本多 ）（ D組：花香・川口 ）（ E組：本多・花香 ）

使用教科書：（「新簿記」（実教出版））

教科・科目の目標：

- 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点：

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
・基礎的・基本的事項の理解できているか。 ・記帳技術の習熟ができているか。 ・習得した知識・技術を生かして各種検定試験問題等応用的な課題を解決できるか。	・習得した知識・技術を生かして、取引事例の記録（仕訳演習）や、帳簿類・証憑類・財務諸表等の作成が正確・迅速に進められるか。 ・習得した知識・技術をビジネスの実際場面に照らした理解が進んでいるか。	・学習の進度に応じて深まる課題や演習問題に対し自らの学習を振り返り、解決しようとしているか。 ・企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力を身に付けるために、ビジネスの実際場面に照らして課題を設定し、解決しようとしているか。

	単元項目	学習内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	主	
1 学 期	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と 貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書	簿記の意味、目的、種類、歴史、必要性について確認する。 資産・負債・純資産の基本的な概念と貸借対照表の役割と構造、収益・費用の基本的な概念と損益計算書の役割と構造および当期純損益の計算方法について問題演習等を通して理解する。 取引の仕訳演習から勘定の転記記入についての基本的な流れを分記法による記帳練習等を通して理解し習得する。	学習内容、指導事項について理解をしているか、理解の定着が図られているか、理解が深まっているか。 演習問題の事例について、ビジネスの実際場面に照らして理解が進んでいるか。 学習内容、指導事項について理解を進めるための学習の振り返りができているか。	○	○	○	14
	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳演習と転記	簿記における取引の概念、勘定の意味と役割、取引要素の結合関係、貸借平均の原理、仕訳演習・転記の意味と方法について問題演習等を通して理解する。		○	○	○	12
	中間考査		学習内容、指導事項について理解の定着が図られているか。 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に表現できているか。	○	○		1
	第2編 取引の記帳（その1） 第10章 現金・預金などの取引 第11章 商品売買の取引 （除：仕入帳、売上帳、商品有高帳） 第12章 掛け取引 （除：売掛金元帳、買掛金元帳）	現金、預金の取引及び預金の種類について仕訳演習を通して理解する。 商品売買の取引について仕訳演習を通して理解する。 商品の仕入れと売上げ、返品と値引について、3分法による仕訳演習を通して理解する。	学習内容、指導事項について理解をしているか、理解の定着が図られているか、理解が深まっているか。 演習問題の事例について、ビジネスの実際場面に照らして理解が進んでいるか。 学習内容、指導事項について理解を進めるための学習の振り返りができているか。	○	○	○	14
	第15章 固定資産の取引 第25章 有価証券の取引 第17章 販売費と一般管理費、税金の取引	固定資産の種類とその取引について仕訳演習を通して理解する。 有価証券の種類と取引について仕訳演習を通して理解する。 販売費および一般管理費の概念と種類について仕訳演習を通して理解する。		○	○	○	12
	期末考査		学習内容、指導事項について理解の定着が図られているか。 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に表現できているか。	○	○		1
2 学 期	第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引 第16章 個人企業の資本の取引 第5編 取引の記帳（その2） 第24章 特殊な手形の取引	手形の種類、約束手形の振出・受取・裏書・割引・書き換え、不渡手形・手形借入金について仕訳演習を通して理解する。 前払金・前受金、未収金・未払金、貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金、立替金・預り金、仮払金・仮受金および商品券等について仕訳演習を通して理解する。 個人企業の純資産を増加・減少させる取引、引出金に関する処理について仕訳演習を通して理解する。	学習内容、指導事項について理解をしているか、理解の定着が図られているか、理解が深まっているか。 記帳技術の向上が図られているか。 演習問題の事例について、ビジネスの実際場面に照らして理解が進んでいるか。 学習内容、指導事項について理解を進めるための学習の振り返りができているか。	○	○	○	14
	第1編 簿記の基礎 第6章 仕訳演習帳と総勘定元帳 第11章 「商品売買の取引」のうち、仕入帳、売上帳、商品有高帳 第12章 「掛け取引」のうち、売掛金元帳、買掛金元帳	既習事項の取り引きについて一巡の手続きの流れに沿った証憑類の作成や記帳法の学習、記帳演習を通して実際の・体験的に理解する。 主要簿と補助簿など帳簿の種類とそれぞれの関係、企業の方針制度と会計帳簿の関係および帳簿の形式について実際の・体験的に理解する。		○	○	○	14
	第4編 会計帳簿と帳簿組織 第22章 伝票の利用						

3 学 期	中間考査		学習内容、指導事項について理解の定着が 図られているか。 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に 表現できているか。	○	○		1
	第1編 簿記の基礎 第6章 仕訳演習帳と総勘定元帳 第7章 試算表 第8章 精算表 第3編 決算（その1） 第18章 決算整理（その1） 第19章 8桁精算表 第20章 帳簿決算 第4編 会計帳簿と帳簿組織 第21章 会計帳簿	決算整理の意味について理解し、売上 原価の算定、貸倒れの見積り、固定資産 の減価償却費の計算と記帳（定額法と直 接法）、現金過不足の整理および引出金 の整理について理解する。 財務諸表を作成するための棚卸表およ び8桁精算表を作成する方法について理 解し、習得する。 勘定式の貸借対照表と損益計算書を作 成する方法について理解し、資料をもと に財務諸表を作成する方法について理解 し、習得する。	学習内容、指導事項について理解をしてい るか、理解の定着が図られているか、理解が 深まっているか。 記帳技術の向上が図られているか。 演習問題の事例について、ビジネスの実際 場面に照らして理解が進んでいるか。 学習内容、指導事項について理解を進める ための学習の振り返りができているか。	○	○	○	16
	期末考査		学習内容、指導事項について理解の定着が 図られているか。 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に 表現できているか。	○	○		1
	1・2学期既習事項の総合演習 第5編 取引の記帳（その2） 第26章 本支店会計 第27章 （発展学習）最近の実務 に 広がる取引 第6編 決算（その2） 第28章 決算整理（その2） 発展編 株式会社の取引 第29章 株式会社の取引と財務諸 表	1・2学期の学習事項について総合演 習問題を通して理解を深めるとともに、 記帳技術を向上する。 支店会計が独立している場合の本店と 支店間の取引、支店が計上した当期純損 益の処理、支店相互間の取引について理 解する。 支店会計が独立している場合の本店と 支店における決算手続の流れ、未達取引 の整理方法、内部利益を含まない合併財 務諸表の作成方法について理解する。	学習内容、指導事項について理解をしてい るか、理解の定着が図られているか、理解が 深まっているか。 記帳技術の向上が図られているか。 演習問題の事例について、ビジネスの実際 場面に照らして理解が進んでいるか。 学習内容、指導事項について理解を進める ための学習の振り返りができているか。	○	○	○	25
	期末考査		学習内容、指導事項について理解の定着が 図られているか。 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に 表現できているか。	○	○		1
				合計		126	